

施設名	展覧会・イベント	日時・場所	費用・定員・申し込み
貞享義民記念館 Tel.77-7550	arp絵画コレクション	開3月25日(火)～4月20日(日) 場1階企画展示室	費無料

安曇野市豊科近代美術館は、
4月1日から安曇野市美術館
に名称を変更します。

現在改修工事中です。リニューアル
オープンは8月末を予定し
ています。



碌山美術館

第115回碌山忌 記念講演会



演題 アートが拓く地域力

4月19日(土)

13:30～15:00(開場12:45)

場穂高公民館講堂

対高校生以上

講姜尚中さん(政治学者)

費高校生300円・大人900円

定200人(先着順)

申3月25日(火)から、碌山美術館HPの応募

フォーム・電話(Tel.82-2094)・ファクス(

Fax.82-9070)のいずれかの方法で

問碌山美術館 Tel.82-2094



第30回

コラム 市誌編さんだより

戦国の山城遺構・岩原城址

戦国時代、市内には大小いくつもの山城が築かれました。そのひとつに、堀金烏川の岩原城があります。関係する古文書が残っていないため城の歴史はわかりませんが、戦闘が激しくなった戦国時代後期の痕跡が見受けられます。

城跡は大庄屋山口家の裏手、角蔵山から北へ続く尾根上に残っています。尾根のピークには、戦時に城主などが本陣を置いたと思われる主郭という平場が築かれ、ここを中心に防御施設が設けられました。主郭に至る尾根道には幾筋もの深い空堀が掘られ、攻めてくる敵の行く手を阻んでいます。また尾根筋などには、兵を配して防御できるように曲輪と呼ばれる

平場も造られました。さらに主郭の背後には深さ10メートル以上もある堀切が設けられ、高所からの逆落としにも備えていました。



岩原城主郭の背後の堀切

た。主郭北側の緩斜面に小規模ながら三筋ほどの縦堀がみられるのもこの山城の特徴で、攻め手の横の移動を封じるためと考えられます。

現在、「岩原自然と文化を守り育てる会」によって主郭までの道が整備され、説明板も設置されています。この山城は、郷土の歴史を守り伝えるだけでなく、地域の活性化にも活用されている歴史的遺産といえるでしょう。

教育部文化課博物館担当
逸見 大悟

参加者募集

こども能楽教室

こどもたちが日本の伝統芸能に親しめる「こども能楽教室」を開講します。観世流能楽師の青木道喜さんを講師に「仕舞」や「謡」を学び、第34回信州安曇野薪能の演目発表会での披露を目指します。



開講式

5月2日(金) 18:30～

練習日

5月2日(金)～8月22日(金)(全11回)

※詳細は市HPをご確認ください。

発表会

8月23日(土) 16:30～

場明科公民館ほか(発表会は龍門淵公園)

対発表会に参加できる小中学生 定10人(抽選)

申4月25日(金)までに氏名・ふりがな・生年月日・住所・連絡先・保護者氏名を電話(Tel.71-2463)・ファクス(Fax.71-2338)・電子メール(bunka@city.azumino.nagano.jp)いずれかの方法で

問文化課 Tel.71-2463



出演者募集

アルプスあづみの公園早春賦音楽祭

公募ステージ出演者を募集します。プロ・アマ、ジャンルは問いません。



応募締切

4月9日(水)

開催日

5月11日(日) 10:00～15:00

場国営アルプスあづみの公園(堀金・穂高地区)

費1グループ2000円

申上記締切までに申込書とデモ音源(CD)を郵送で。申込書は市HPから入手できます。

提〒399-8295 安曇野市堀金烏川33-4

国営アルプスあづみの公園堀金・穂高管理センター「あづみの公園早春賦音楽祭」係宛て

他申込多数の場合は、実行委員会で選考します。

問アルプスあづみの公園管理センター Tel.71-5511



ボランティア募集

安曇野市美術館 バラ園育成ボランティア

バラ園の手入れを手伝っていただけるボランティアを募集します。活動日は年間20回程度で、そのうち参加可能な日を選んで活動します。



定20人(先着順)

申4月17日(木)から27日(日)までに美術館へ直接、または電話で。

問安曇野市美術館 Tel.73-5638

第1回ボランティア説明会

日5月11日(日)10:00～11:00

場豊科交流学習センターきぼう第1学習室